

鈴木 賢志

ストックホルム商科大学 欧州日本研究所 准教授

高齢者介護における福祉ミックスの研究 - 日本・イギリス・スウェーデンの比較分析

本研究は、福祉サービスの供給を社会の複数の部門（政府、市場、非営利団体、インフォーマル部門 - 主に家族）の最適な組み合わせによって解決するという福祉ミックス論の考え方に基づき、日本・イギリス・スウェーデンという3つの長寿社会において、高齢者介護の担い手が上記の各部門の間でどのように配分されてきたのかを、特に地域的な多様性に焦点を当てて明らかにすることを目的とした。研究対象の3国は、いずれも新公共経営の考え方に基づく高齢者介護制度の改革を近年実施してきたが、そこでは地方分権が地域格差を助長しているという声がしばしば聞かれる。しかしここでは、むしろ地域格差の縮小をもたらす場合があることを示し、そのような主張が必ずしも正しいとは限らないことを実証した。また福祉ミックスの地域的多様性は各地域の特性によってある程度説明できるが、その相関のパターンは普遍的なものではなく、国によって異なる場合があることも明らかにした。